



## 地域の 伝統芸能を伝承

齊藤 徳造さん (大沢)

大沢地区では、生涯学習を踏まえ伝統芸能である、「田植え踊り」と「さんさ踊り」の、伝承活動を実施しています。

年代は10代から80代と幅広く、練習の時先輩の皆さんは自分の孫に教える気持ちで何か生きがいを感じているようです。

子供たちも楽しんで練習していますし、我々も先輩から地域の歴史など、色々なことを学ぶ機会として今後も永く続けたいと思います。



## 教育・生涯学習の推進

(千円以下切り捨て)

### 「自己実現を支援します」

- 各講座開設事業…………… 205万円
- 埋蔵文化財調査事業…………… 427万円
- 学校体育施設開放事業…………… 688万円
- 滝沢村スポーツ少年団事業費補助事業…… 84万円
- 広報発行・ホームページ運用事業…… 2,382万円
- 地域自治活動事業…………… 3,121万円
- 滝沢地域デザインの推進…………… 308万円

### 「次代を担う人を育てます」

- 中学生海外派遣事業…………… 197万円
- 英語大好きジュニアハイスクール調査研究事業 40万円
- 学習支援事業…………… 75万円
- 教育用コンピュータ整備事業…………… 2,735万円
- 滝沢南中学校北校舎建設事業…… 3億8,856万円
- 学校給食事業…………… 3億2,485万円
- 就学助成事業…………… 1,544万円

**問** 中学生海外派遣事業の内容は。

**答** 17年度はフィリピンに8名派遣しました。文化、歴史などを学びまた、英語の必要性、貧富の差などを実感してきました。今後もこの内容で続けていきます。

**問** 就学援助の内容は。

**答** リストラ、離婚などによる生活困窮で、16年度268人、17年度304人で18年度は315人に対し2,670万円の予算となっています。

**問** 学校安全体制整備推進事業の内容は。

**答** 村内でも不審者、声かけ事案があり、子どもたちを守るため各小学校にスクールガードを組織するものです。

**問** 学校図書館の図書費の状況は。

**答** 小学校で1,285冊増冊するもので、額として約197万円、また整備率を1%増加する予定です。

**問** 元村地区にある「五龍のフジ」の保護対策は。

**答** 一部枯れはじめている部分もあり、地域の皆さんと協議しながら保全に努めていきます。

**問** 一般会計は、対前年比0.3%減であるが、児童手当の拡充などを除くと実質2%以上の減になると思う。各自治体の状況は異なるものの住民ひとり当りの予算規模が他の自治体に比べ小さいと思うがいかがか。

**答** 滝沢村24万6,000円に対し、盛岡市で33万円など確かに県内の市に対しては小さい状況にあります。それは市営の福祉事務所、病院、保育園を有していることに起因していると考えられます。逆に本村の場合、借金の額は県内でも少ないほうで、予算規模を肥大化していない状況にあります。

**問** これからの学校運営、教育の方策は。

**答** 根本的な考えとして、開かれた学校づくりを目指し、学校が地域と一体となり子どもたちを育てていきます。また生徒、児童の安全対策も重要と考えこれらを基本理念として一層充実していきます。